

# 研究名： D P C 情報と周産期登録に関する連結可能性の研究

## 1 . 研究の目的

現在、多くの病院で分娩録情報はその他の診療情報と連結されていませんが、将来的にこれらの情報を連結し活用することで、医療資源の配分を最適化することが期待されます。そこで、本研究は、当センターにおける産科の分娩録情報が母児の入院診療情報とどの程度連結することができるかを検証し、このようなデータの連結や利活用が全国的に可能かを検討する材料とすることを目的としています。

## 2 . 研究の方法

研究対象：当センターにて2020年1月～2020年6月までに当院にて出産した患者さまと  
そのお子さま

研究期間：倫理審査委員会承認後～2024年3月

研究方法：2020年1月-6月に当院にて出産した患者さまとのお子さまについて、当院にて現在別々に保管されている医療情報（産科において保管している分娩情報、2019年4月から2021年3月までの当院の入院情報）を個人単位で連結し、診療データ（出生体重、在胎期間、分娩日等）の一致率を計算する。

## 3 . 研究に用いる情報の種類

（「情報」の記載例）病歴、検査データ、副作用等の発生状況、カルテ番号 等

分娩録に含まれる診療情報（分娩方法、妊娠週数、出生体重、等）およびカルテ番号  
お母さまの、出産までの1年間の入院に関わる診療情報（入院期間、入院時の病名、  
退院転帰）およびカルテ番号

お子さまの、2021年3月までの入院に関わる診療情報（入院期間、入院時の病名、退  
院転帰）およびカルテ番号

**患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報**は調査対象ではなく、  
**個人情報は保守されます。**

## 4 . 情報の公表

研究内容は個人が特定できない集計情報の形で学会発表、学術論文および厚生労働科学研究報告書の形で公表する予定です。

## 5 . 研究実施機関

## 6 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、**6月30日までに**下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 社会医学研究部 森崎菜穂

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181 （内線 8069）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 社会医学研究部 森崎菜穂